

＜ギャラリープロジェクト＞ 中高生のための“はじめての”演劇 Days 2025 3/1(土)、3/2(日)開催決定！

**今年もやります！中学生・高校生対象の演劇ワークショップ2Days！
芸術監督の小川絵梨子をはじめ、大和田美帆、北尾 亘ら豪華講師陣が集結
井上芳雄も「お話し」コーナーに登場！**



新国立劇場では演劇芸術監督 小川絵梨子の方針の下、演劇の作り手の方々との交流を深め積極的に連携して、幅広い観客層に演劇をお届けしたいと思っています。そのために実施している一般のお客様に向けてのワークショップや講演などの演劇イベントの総称が「ギャラリープロジェクト」です。その一貫として、毎年開催している中学生・高校生を対象とした演劇ワークショップ。日本の演劇界の第一線で活躍するスタッフ、クリエイター、俳優が講師を務める本イベントは、毎年大変ご好評をいただいております。

そして今年も、3月1日(土)・2日(日)の2日間、「**中高生のための“はじめての”演劇 Days 2025**」として開催が決定い

たしました！ 6回目となる今年は、これまで全く演劇には触れたことがない方から、観劇をしたことはあるが演技経験はない方など、初心者向けのワークショップを開催します。演劇を楽しみながら学び、多角的に体験いただけるワークショップや特別講義をたっぷりをご用意しています！今回は、新国立劇場のバックステージにもご案内！舞台の裏側や舞台スタッフに興味のある方も大歓迎です。

つきましてはリリースを送付いたしますので、ぜひ貴媒体にて本イベントをお取り上げいただけますと幸いです。何卒よろしくお取り計らいくださいますよう、お願いいたします。

概要

＜ギャラリープロジェクト＞中高生のための“はじめての”演劇 Days 2025

【日程】 [1日目] 3月1日(土) 10:30～17:00 [2日目] 3月2日(日) 10:00～17:00

【会場】 新国立劇場 ※対面での開催

【募集要項】

- 人数: 20名様 ★応募多数の場合は抽選となります。
- 参加費: 2,000円 ※事前振込

●応募条件:

- ・中学生・高校生およびその年齢に該当する方(個人参加に限ります)
- ・2日間、全ての講座に参加できること
- ・新国立劇場(初台)に通えること
- ・演劇に興味のある方はどなたでもご参加可能です。経験を問いません。

※演技や演劇の経験のある方もご応募可能ですが、講座の内容としては、初心者向けの内容となります。予めご了承ください。

●詳細・お申込み(WEB 申込)

https://www.nntt.jac.go.jp/play/news/detail/13_028959.html 【申込期間: 1/15(水) 12:00～2/5(水) 23:59】

●お問合せ: 新国立劇場「ギャラリープロジェクト」受付係

TEL: 03-5352-5845 [平日 11:00～18:00] Mail: nntt_drama_event@nntt.jac.go.jp

カリキュラム一覧／講師(予定)

[1日目] 3月1日(土)

- 「ご挨拶」小川絵梨子(演出家、新国立劇場演劇芸術監督)
- 「カラダを知る、ココロが踊る」北尾 亘(振付家、ダンサー、俳優/Baobab 主宰)
- 「お芝居ができるまで」三崎 力(新国立劇場 制作部演劇)
- 「舞台衣裳を考えて、創ってみよう！」宮本宣子(衣裳家)

[2日目] 3月2日(日)

- 「歌唱と演技」伊藤和美(歌唱指導)
- 「劇場ツアー」櫻井拓朗(新国立劇場 技術部舞台課)
- 「お話し」井上芳雄(俳優/歌手)
- 「セリフを心で言ってみよう」大和田美帆(俳優)

講師プロフィール

北尾 亘 KITAO Wataru

幼少期よりミュージカルを中心に舞台芸術に携わり、クラシックバレエからストリートダンスまで多様なジャンルを経験。2006年桜美林大学入学以降、木佐貫邦子に師事。2009年ダンスカンパニー「Baobab」を旗揚げ、全作品の振付・構成・演出を担う。またダンスアーティストへ向けた主催フェスティバル『DANCE×Scrum!!!』では、自らディレクターを務めるほか、振付家、ダンサー、俳優として幅広く活動している。



宮本宣子 MIYAMOTO Nobuko

東京バレエ団の美術・衣裳を手掛けた後、演劇、ミュージカル、オペラの衣裳デザイナーとして幅広く活躍。1980～88年まで状況劇場の衣裳を担当。新国立劇場では『東京ローズ』『切られの仙太』『たとえば野に咲く花のように』『象』『マッチ売りの少女』『浮標』『ピカドン・キジムナー』『夜への長い旅路』などに参加。『冬の時代』『ヴェローナの二紳士』『白鯨』で第23回読売演劇大賞選考委員特別受賞。令和五年度文化庁長官表彰受賞。

伊藤和美 ITO Kazumi

名古屋音楽大学声楽科卒業。2007年までパフォーマンズグループ「時々自動」に所属。平成17年度文化庁派遣芸術家在外研修員として1年会渡英。RADAにおいてTom Wakeleyに師事し、歌唱指導の研鑽を積む。現在、新国立劇場演劇研修所、座・高円寺「劇場創造アカデミー」講師。演劇、オペラ、ミュージカルのスタッフ、特に歌唱指導として新国立劇場他多数の公演に参加。

井上芳雄 INOUE Yoshio

東京藝術大学音楽学部声楽科在学中の2000年にミュージカル『エリザベート』のルドルフ役で鮮烈なデビューを飾る。以降、高い歌唱力と圧倒的な存在感で数々のミュージカルや舞台に出演。CD制作やソロコンサートなど歌手活動も精力的に行いコンサートの開催を行う一方、近年では、音楽・バラエティ番組への出演ほか、MCを務めるなど活動の場を広げている。

第33回菊田一夫演劇賞、第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞(演劇部門)、第36回松尾芸能賞優秀賞など受賞多数。近年の主な出演舞台に『桜の園』『ムーラン・ルージュ！ザ・ミュージカル』『メディア/イアソン』『ベートーヴェン』『ラグタイム』など。新国立劇場では、『1984』『パッション』『負傷者16人-SIXTEEN WOUNDED-』に出演。



大和田美帆 OWADA Miho

2003年、ミュージカル『PURE LOVE』でデビュー。以降、舞台、テレビドラマなどで活躍。音楽や芝居で子どもたちに笑顔の種まきをするプロジェクト「子どもが笑えば世界が笑う」代表を務め、自己表現ワークショップを開催するなど、活動の輪を広げている。主な出演舞台に、『ミュージカル DADDY』『歌喜劇/市場三郎～グアムの恋』『アマデウス』『フルモンティ』『音楽劇 ガラスの仮面』『ミュージカル 阿国』など。新国立劇場では、『夢の泪』に出演。



小川絵梨子 OGAWA Eriko

2004年、ニューヨーク・アクターズスタジオ大学院演出部卒業。06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修生。18年9月より新国立劇場の演劇芸術監督に就任。

近年の演出作品に、『ART』『おやすみ、お母さん』『管理人/ THE CARETAKER』『ダウト～疑いについての寓話』『検察側の証人』『ほんとうのハウンド警部』『死と乙女』『熱帯樹』『出口なし』『FUN HOME』『死の舞踏/令嬢ジュリー』『RED』など。新国立劇場では『ピロマン』『デカログ』『レオポルトシュタット』『アンチポデス』『キネマの天地』『タージマハルの衛兵』『骨と十字架』『スカイライト』『1984』『マリアの首-幻に長崎を想う曲-』『星ノ数ホド』『OPUS/作品』の演出のほか、『東京ローズ』『かもめ』『ウィンズロウ・ボーイ』の翻訳も手がけた。

<本件に関するお問い合わせ> 制作部演劇 広報担当: 杉田 TEL: 03-5352-5738 Mail: sugita_a8863@nntt.jac.go.jp